



YMCA 大阪青年



2021年4月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



とりかこむ世界にゆだねてはいけない

25年前の夏のスタディツアーで、生徒、学生を引率してマンマーのマンダレーYMCAを訪れた。私たちの訪問の2か月前、大阪とマンダレーのYMCA関係者の協力により、「草の根の人間交流」を掲げるHITOセンターがマンダレー市街の一角にオープンした。植民地支配の歴史と軍政支配の現実の中で、文化と教育が交わる新しい拠点に、YMCAの力が発揮されることが願われた。

私たちは、センターの最初の教育事業となった日本語クラスと縫製クラスの修了式と祝会に参加した。食事と音楽を介した交わりの夕べ、夏季モンスーンの蒸し暑い風の中で若い高揚感と熱気に包まれた。

その後も、私たちはマンダレーでの交流を続けた。ある年、ツアーに参加した日本の高校生が紹介した歌をHITOセンターに集うたくさんのユースといっしょに歌った。

**きみのやさしさは きみのものだから
とりかこむ世界に ゆだねてはいけない
※昨日を今日につなげるために 今日**

**を明日に手渡すために
きみのしなやかさは きみのものだから
とりかこむ世界に ゆだねてはいけない
※
きみの悲しさは きみのものだから
とりかこむ世界に ゆだねてはいけない
※
〔君は君の主人公だから〕
詩：笠木透 曲：古井実、1975年〕**

詩の意味をビルマ語で説明してもらい、ギターに合わせて歌い始めると、一人のマンマーの若者がかけ寄ってきた。「この歌の意味、よくわかります。言いたいこと、よくわかりました。ありがとう。」

あれから25年。軍事政権が解散し民主化が急速に進んでいたマンマーで、再び軍政が実権を握り市民への弾圧が起こった。世界YMCA同盟は、チン州ハッカYMCAのロニー・リアン総主事が当局に逮捕されたことを報じ、その安全と解放のための祈りを呼び掛けている(3月末現在)。

私たちの心と行動を塞ぐ新しいウイルスは、人類をも創り出した自然界から生み出されたものである。私たちは、コロナ禍を災厄だとやり過ごそうとする心情に自らをゆだねることなく、この出来事の意味とメッセージに向き合い、本来の回復や社会変革のための課題に取り組むべきである。

あの夏、若い歌声を交わして通じ合った思いは、互いのいのちの重みに共感し連帯する力を育んだ。「誰かの」「どこかの」問題を自分の切実さに引き寄せることが、あなたとわたしの「見つける・つなげる・よくなっていく」への動力となる。グローバルであれローカルであれ、YMCAは世界の課題をまっすぐに自分事として受けとめるためのストーリーに満ちている。



大阪YMCA
会長
いわさか に き
岩坂 二規

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

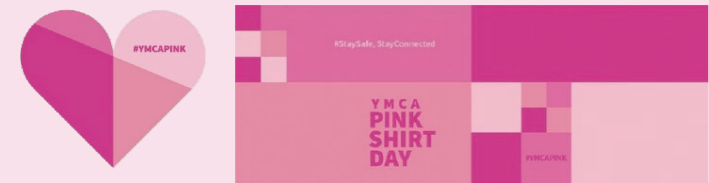
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

ピンクシャツデー (Pink Shirt Day) 2021

～いじめのない世界をめざそう～

2021年2月24日(水) 参加者：7,104人 メッセージ：4,541件

大阪YMCAでは、全ての事業所・活動拠点で会員や保護者、協賛企業・団体、ボランティアリーダーなど関係する多くの方々と共に、「いじめのない世界」をめざしてピンクシャツデーの様々な取り組みを行いました。



協力：ブランディング制作 グラムコ株式会社

主な取り組みとして、YMCA学院高等学校の先生と生徒で立ち上げたサークル活動では、「多様性の尊重」をテーマに講演会を行い、それぞれの生きづらさや困難を抱えた中での人との関わり方を題材に、自分や相手を大切にすることについて考える機会をもちました。また、大阪城公園でスポーツクラブNASとの合同イベントとしてピンクシャツデーランを開催し、ピンクの物を身に着けた352人の方が参加しました。

コロナ禍による配慮や対応を行いながら、文部科学省や地方行政機関からの後援、多くの企業や団体などからの賛同と協賛により、新たな取り組みの展開を広げながら、より多くの人へ「いじめ反対」のメッセージを伝えることができたことに心から感謝申し上げます。

にすぎ (野外・キャンプ事業部 スタッフ 西田 咲)

主な取り組み

ピンクシャツデーラン

～いじめをなくすためにできることを楽しみながら考えてほしい～

2月23日(火・祝)、多数の企業・団体(右記掲載)から協賛いただき、大阪城公園内に特設コースを設定してピンクシャツデーランを行いました。このイベントは、いじめについて考える機会としてピンクシャツデー運動を広めたいという思いに加え、コロナ禍で見えない偏見や差別が助長されていることを知ってもらい、さらには外出の機会が減少していることによる運動不足解消のきっかけになってほしいとの思いから実施しました。スポーツクラブNASと合同で開催したこのイベントに対して、多様な企業が興味・関心を示され快く賛同いただいたことに感謝申し上げます。

当日は晴天に恵まれ、参加されたランナーは賛同いただいた企業の方々を含む総勢352人となりました。コース途中で写真スポットを設定し、大阪城をバックにピンク色の小物やウエアと一緒に写真を撮るなどして参加することで、楽しく啓発運動を行いました。参加者からは「久しぶりに会えてうれしかった」「人とのつながりは大切だね」と話をする姿も見られ、多くの笑顔があふれていました。

この取り組みは、新聞やテレビのニュースでも取り上げられています。ピンクシャツデー運動を通し、いじめを自分事としてとらえ、世の中から偏見や差別がなくなることを願っています。

なみき (南YMCA スタッフ 並木 聡子)



各拠点ごとの活動

大阪YMCAの各拠点にて、幅広い世代のYボランティア・参加者の方々と共にいじめについて考え、発信しました。当日と実施週には、ピンクのアイテムを身につけて各自がいじめ反対の意思を表し、SNSで発信しました。



子育て支援の参加ファミリー

サッカーのメンバー

野外・キャンプ活動の子どもたち

留学生(国際ホテル学科・国際ビジネス学科)

ユースボランティアリーダーはオンラインで

フラダンス参加者(サンホーム)

大阪市立水都国際中学・高校の教員

徳島YMCAのユースボランティアリーダーとスタッフ

YMCA学院高等学校 講演会イベント

社会への広がり

地域の学校でも、いじめについて考えたり、いじめ反対のメッセージを発信する取り組みが行われました。また、多数の企業・団体からも賛同、協賛・ご協力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

1. 参加・発信協力機関・企業・団体

学校・教育機関

- ・阿南市立椿小学校
- ・阿南市立椿泊小学校
- ・大阪商業大学高等学校
- ・阿南市立山口小学校
- ・阿南市立津乃峰小学校
- ・阿南市立椿町中学校
- ・椿保育所
- ・みくま幼稚園
- ・千里山グレース幼稚園
- ・東豊中幼稚園
- ・とよなか文化幼稚園
- ・天王学園幼稚園
- ・枚岡カトリック幼稚園
- ・アサンプション国際幼稚園
- ・山手幼稚園
- ・四国大学附属認定こども園
- ・認定こども園
- ・めぐみ幼稚園めぐみ保育園
- ・わかき幼稚園
- ・阿南聖母幼稚園

企業・団体

- ・ソフトバンク株式会社
- ・女子ジュニアユースチーム・クラベリーナ東住吉
- ・HIIT Plus 本町駅(アスリート株式会社)
- ・医療法人健志会ミナミデザインデンタルクリニック
- ・大阪市レディースフットボールクラブ
- ・エフエムびざん
- ・キッチンマルシェ椿
- ・西野建設株式会社
- ・徳島新聞
- ・阿南信用金庫
- ・galaxy株式会社

2. ピンクシャツデーシャツ型カード協賛企業・団体

- ・阿南商工会議所
- ・阿南信用金庫
- ・エフエムびざん
- ・大阪総合教育支援研究所
- ・株式会社イマイチ
- ・株式会社ふる里
- ・サステナブル阿南
- ・スポーツクラブNAS株式会社
- ・椿ママどる
- ・西野建設株式会社

3. ピンクシャツデーラン協賛企業・団体

- ・味の素株式会社
- ・キリンビバレッジ
- ・アキレス株式会社
- ・ソフトバンク株式会社
- ・F.C.大阪
- ・J-GREEN堺
- ・galaxy株式会社
- ・近鉄ライナーズ
- ・desir beaux
- ・資生堂ジャパン株式会社
- ・オリックス・バファローズ
- ・大阪市レディースフットボールクラブ
- ・スポーツクラブNAS株式会社
- ・医療法人健志会ミナミデザインデンタルクリニック
- ・八尾フットサルガーデン Green Green
- ・キューオーエル・ラボラトリーズ株式会社
- ・加茂商事
- ・コラボスポーツ
- ・Ayus Yoga
- ・西宮ストークス
- ・大阪サウスウイズメンズクラブ
- ・大阪西ウイズメンズクラブ
- ・大阪河内ウイズメンズクラブ
- ・ノチダ株式会社
- ・ジョグスタ
- ・株式会社スポーツ館ミツハシ
- ・株式会社ミカサ

4. 後援

文部科学省、東大阪市教育局、阿南市教育委員会、堺市、堺市教育局

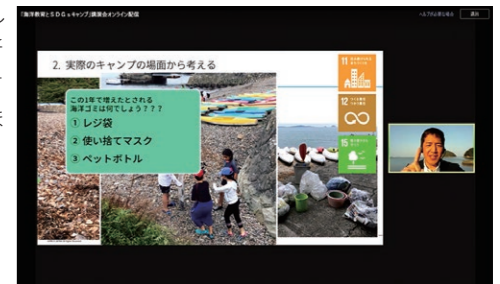
阿南、SDGsの可能性に挑戦!

～「海洋教育とSDGsキャンプ」報告～

なかむら しげたか
YMCA総合研究所 研究員 中村 茂高

大阪YMCAと朝日新聞社が、2月21日(日)、生きる力を育むキャンプと海洋教育の一体化をはかる「海洋教育とSDGsキャンプ」をオンラインで開催しました。5月のリーダーズキャンプ、8月のキッズキャンプにつながる一連のトップをかざるもので、約150人が視聴し注目を集めました。

まず、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任教授の日置光久さんが、アニメ「海、いのちをめぐる旅」で連続と続く命のサイクルを伝えた後、新学習指導要領などをもとに海を活用した新たな学びについて説明。海離れが進むなか、子どもたちが知識だけでなく、きちんと理解した上で判断力、実行力を養うことが大切と述べました。次に、YMCA阿南国際海洋センター所長の菅田齊さんが現地からレポート。海の酸化について簡単な実験をした後、センターにおけるプログラムについてクイズを交え紹介。菅田所長は「体験」を「学び」に変える行動変容のプロセスの重要性を説き、参加者の考えを軸に、自分事として体験させる、新たなキャンプの方向性を打ち出しました。



SDGsリーダーズキャンプを開催します



教育の現場やSDGsを推進する指導者を対象とし、自らの実体験を通してSDGsの本質的な理解を深める機会としてSDGsリーダーズキャンプを開催します。

東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターより講師を招き、学校教育におけるESD(持続可能な開発のための教育)の推進と、その展開事例や現地ロケーション活用方法のヒント等についての講義をキャンプの中で実施いただきます。

また参加者が、SDGsキャンプや海洋教育の促進について積極的に取り組む機会とし、参加者同士の情報交換や交流のプラットフォームとなるよう進めてまいります。参加者自身が、いかに自分事として考えることができるのか、そのことを実感するためのキャンプです。

【概要】※詳細・申込方法はYMCA阿南国際海洋センターホームページにて公開中

【日程】5月27日(木)～29日(土)【泊3日】

【場所】YMCA阿南国際海洋センター

【対象】自治体、学校関係者、社会教育担当者、企業(CSR・人事・研修)担当者、一般

【参加費】11,000円

YMCA阿南国際海洋センターホームページ



健康コラム

こころとからだを健康に!

つだ あきお
土佐堀事業 事業長 津田 晃男

新型コロナウイルス感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発出され、子どもたちにとっても、休園や休校だけでなく、多くの活動を自粛しなければいけない状況となりました。身体的にも精神的にも成長途上の子どもたちにとって、この一年の自粛は大人が感じる以上に大きな影響がありました。2021年度は、その時、今しかできない多くの活動を体験することができ、子どもたちの笑顔があふれる一年にしましょう。

そのためには、自宅に閉じこもるのではなく、感染対策を行いながら仲間と過ごすこと、屋外で散歩するなど気持ちを晴れやかにしていくことが有効です。大阪YMCAのウェルネス事業では、子どもだけではなく全世代の各々に対して感染対策を行いながら、こころとからだを健康に保つ暮らしをお手伝いする働きを積極的に取り組んでいく年にしていきます。



大阪YMCAクリスマス献金へのご協力 ありがとうございました。

敬称略		
洪宝菁	施皓	西出智織
李東炫	志戸幹代	仁平真尋
李東運	謝懷慈	藤原本代
伊藤 淳美	朱詩雨	何嘉樂
王江楠	周周	馬湘雨
王邵盼	徐沁	馬禎
汪蘇豪	申雨佳	孟航
王崢	陳瑞連	森本 信子
王竹筠	末方 伸	山田 孝彦
王雪笛	孫鑒	俞子恒
王立克	太照明	楊登程
岡崎 敦子	立和名 房子	吉本 梨央
蔭山 育子	譚敏	米澤 真由美
葛暢	陳雅雯	李琦輝
上江 真由	張心怡	李玲玲
龜田 美保	張心媛	劉咏琪
河上 佳子	趙晴予	劉興國
關佩怡	張茜	劉暢
喬曉璐	張溟洋	劉芃延
許諾	陳秋敏	梁楷斌
黃楷文	鄭辰	林佳萱
黃綺康	陳俞安	林孟德
高美穗	築城 美由喜	盧承毅
黃宥業	丁明禹	和田 遼香
黃龍漢	中津 早由美	CHAN SIU TING
坂本 敦	西田 夕紀子	HO NGOC DUNG

2021年度大阪YMCA 年間聖句・年間讃美歌 決定

2021年度 年間聖句

「希望はわたしたちを欺くことはありません。」

(ローマの信徒への手紙5章5節:新共同訳)

選考理由

コロナ禍で先が見えない不安の中にあっても、「希望」を抱いて生きていく勇気が与えられる聖句です。いつの時代にあっても私たちに絶えず神様の愛が注がれているということを強く感じさせ、大きな愛を受けた私たちが社会の光となり、共に生きる社会の実現をめざすYMCAの姿を表しています。

2021年度 年間讃美歌

讃美歌21-419番

「さあ、共に生きよう」

選考理由

一人ひとりが孤立しているのではなく、「共に」生きる、というメッセージが私たちに勇気づけてくれます。「主はこの時代の 苦しみと悩みを担ってくださる」という歌詞が、まさに今の私たちの状況に寄り添っています。メロディーもなじみやすく、親しみやすいものです。

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第330回 日 時...2021年4月16日(金) 7:30~8:15

奨 励...原田 佳城 牧師 ※朝食会はございません。

(日本聖公会 大阪聖パウロ教会)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ...大阪YMCA 統括本部 総務

TEL:06-6441-0894

E-mail:info@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2021年2月度報告・敬称略

【継続会員】

出原 廣太
伊藤 俊彦
井上 佑起子
遠藤 通寛
岡野 泰和

奥村 千宗

神田 尚人
木下 康生
阪本 聡子
谷川 寛
中村 隆幸

福島 文字

前出 孝子
松倉 幸作
山地 和家子
湯浅 禎也

【継続賛助会員】

株式会社イマイチ

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

